

そして更に神の愛についてこうも書かれています、「しかし唯一神は私たちに自分の愛を証す、すなわち、私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださったこと。」この通り、唯一神は私たちに対して、最高の愛を持っています！人々はみな、神の命令を破ったため、皆はその罪にふさわしい罰を受けなければなりません。神のことばには、「罪を犯している者はみな、不法を行っているのです。罪とは立法に逆らうことなのです。」とあります。人々の心の中には、これは良い、あれは悪いと幼いころから自然にわかります。人は悪いことをしたら、自然にうしろめたい気持ちになるように作られました。更に、聖書の中にも、立法があり、善と悪をはっきりと区別しています。嘘、盗み、人殺し、嫉み、偶像礼拝、姦淫などは全部神様の立法には禁じられています。そしてそれにふさわしい罰はとても恐ろしいものです。「罪の支払いは死です」と聖書に書いてあります。この「死」は霊的な死で、この地球と離れる時は永遠に神様から離れ、地獄で永遠に燃える火の中で苦しむことです。聖書には、人は神の立法の一つでも、一回でも、破ったことがあったら、その人は罪人であるとしてあります。人々は誰でも完璧に清い人生を生きることができないので、皆は罪人です。しかし慈愛深い唯一神には、その罰を受けなくてもいい計画がありました。「罪の支払いは死です」の箇所を続けて読むと、「しかし神の賜物は私たちの主イエス・キリストをとおして永遠のいのちです。」と、唯一神からのプレゼントについて書いてあります。

バレンタインデーには、バレンタインのプレゼントが当たり前ですね。人はプレゼントをあげたり、もらったりします。プレゼントには、不思議な点が一つあります。プレゼントをもらった者はプレゼントを受けとらないと、それを楽しむことができません。受けとらないと、それを与えた人は、折角用意したプレゼントは無駄なものとなったと思い、断られたことでとても残念がります。「プレゼントを断る人がいるわけないでしょう！」と思われるけれども、こ言うことはよくあると思います。

(イエスは神である)と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったことを信じるなら、あなたは救われる。「人はここで信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」これをする、と神の息子イエスを自分の救い主として受け入れ、永遠のいのちを得ることが必ず出来ます。聖書が約束してあるように、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたは救われます。」

あなたも、イエスキリストのプレゼントを受け取りませんか？

人がプレゼントを通して愛を示しても、受け取る人がその愛を断りたいという理由でプレゼントを受け取らないこともありえますね。神の息子イエスキリストは、大体2000年前に、この世に来られました。33年もこの世に住み、罪の全くない、清い人生を生きながら、多くの人たちの病気を癒したり、父なる神の愛について人に教えたりしました。けれども、多くの人はイエスキリストのこゝを受け入れませんでした。しかし、世の罪が神に許されるため、イエスキリストは自分をささげて十字架で死んでくださりました。人々皆の罪をすべて自分に背負って、人の代わりに罪の罰（死）を十字架で苦しみながら受けられました。けれども、イエスキリストは神であったので、墓に葬られた3日後、死からよみがえり、死に勝ちました。今でもイエスキリストは生きています！神の御座の右に着座って、人のために取りなしてくださっています。イエスは皆の罪の罰を支払ったので、代わりに人に許しと永遠の命を与えることが出来ました。この次の箇所の通りです、「それは、罪が死によって支配したように、恵みが、私たちの主イエス・キリストにより、義の賜物によって支配し、永遠のいのちを得させるためなのです。」この許しと永遠の命は私たちに与えたいプレゼントです。これは一人一人受けとらないといけません。受けとるか、受けとらないのかはその人自身で決めなければなりません。神は無理矢理この贈り物を人に押しつけません。けれども、人々にすすめて、この贈り物を皆に与えたいと神は願っています。神は人を深く愛しているので、そのふさわしい罰を避ける契約を与えてくださりました。私たちはイエスキリストの賜物を受け取ると、イエスの義を得て、神の前で私たちは義と認められ、この世と離れたら、すばらしい天国に入らせてくださります。

では、このプレゼントはどうやって受けとれますか？罪の罰からの救いを得るには、どんな特別な技も知識も必要ではありません。ただ自分がしようとすると良い技に全く頼らずに、神であるイエスキリストの義にこそ頼り、聖書がこう教えてあるようにすればよろしいです。「もしあなたの口でイエスを主



「神は愛です」～聖書の言葉

バレンタインデーは愛のことを世界中でお祝いする日です。「愛」と言えば、最初に思い浮かぶことは多分ラブラブなカップルとかハート等でしょうけども、それは本当に愛の基本特性ですか？いつまでも変わらない、深い愛とは、どんなことを思い浮かべますか？それはただの熱い恋でしょうか？ いいえ、本当に深い愛とはただ心地よい感情ではありません。この世を作られた神は、人、人が経験する愛、悲しみ、喜び等をよく知っておられます。このお方は「愛」についてどんなことを思っているのでしょうか？それは私たちが知ることができるのでしょうか？ はい。実は、世を創造した唯一神は、私たちにそれについて書かれたお手紙を送ってくださいました。それは、「聖書」または「神のことば」とよく呼ばれる、神が遣わした人々を通して書かれた本です。聖書には、何よりも大きな愛は何か、また神は人間に対してどんな感情を持っているのかを知ることができます。「人は自分の友人たちのために自分の命を投げ出すこと、誰もこれより大いなる愛はない。」これは本当ですね。相手の命、安全と幸せを自分のよりも先にすることよりもっと大きな愛を持てません。こういう己を忘れる愛を受ける者はそれ以上感動できないと思います。それでは、神様は私たちに対して、どう思っていますか？また聖書によると、こう書かれています。「唯一神は自分の唯一もうけられた息子を与えるほどこの世を愛した。それはだれでも彼を信じる者がひとりも亡びないで、永遠のいのちをもつためである。」

(イエスは神である)と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったことを信じるなら、あなたは救われる。「人はここで信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」これをする、神の息子イエスを自分の救い主として受け入れ、永遠のいのちを得ることが必ず出来ます。聖書が約束してあるように、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたは救われます。」

あなたも、イエスキリストのプレゼントを受け取りませんか？



「神は愛です」～聖書の言葉

バレンタインデーは愛のことを世界中でお祝いする日です。「愛」と言えば、最初に思い浮かぶことは多分ラブラブなカップルとかハート等でしょうけども、それは本当に愛の基本特性ですか？いつまでも変わらない、深い愛とは、どんなことを思い浮かべますか？それはただの熱い恋でしょうか？ いいえ、本当に深い愛とはただ心地よい感情ではありません。この世を作られた神は、人、人が経験する愛、悲しみ、喜び等をよく知っておられます。このお方は「愛」についてどんなことを思っているのでしょうか？それは私たちが知ることができるのでしょうか？ はい。実は、世を創造した唯一神は、私たちにそれについて書かれたお手紙を送ってくださりました。それは、「聖書」または「神のことば」とよく呼ばれる、神が遣わした人々を通して書かれた本です。聖書には、何よりも大きな愛は何か、また神は人間に対してどんな感情を持っているのかを知ることができます。「人は自分の友人たちのために自分の命を投げ出すこと、誰もこれより大いなる愛はない。」これは本当ですね。相手の命、安全と幸せを自分のよりも先にすることよりもっと大きな愛を持てません。こういう己を忘れる愛を受ける者はそれ以上感動できないと思います。それでは、神様は私たちにに対して、どう思っていますか？また聖書によると、こう書かれています。「唯一神は自分の唯一もうけられた息子を与えるほどこの世を愛した。それはだれでも彼を信じる者がひとりも亡びないで、永遠のいのちをもつためである。」

そして更に神の愛についてこうも書かれています、「しかし唯一神は私たちに自分の愛を証す、すなわち、私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださったこと。」この通り、唯一神は私たちに対して、最高の愛を持っています！人々はみな、神の命令を破ったため、皆はその罪にふさわしい罰を受けなければなりません。神のことばには、「罪を犯している者はみな、不法を行っているのです。罪とは立法に逆らうことなのです。」とあります。人々の心の中には、これは良い、あれは悪いと幼いころから自然にわかります。人は悪いことをしたら、自然にうしろめたい気持ちになるように作られました。更に、聖書の中にも、立法があり、善と悪をはっきりと区別しています。嘘、盗み、人殺し、嫉み、偶像礼拝、姦淫などは全部神様の立法には禁じられています。そしてそれにふさわしい罰はとても恐ろしいものです。「罪の支払いは死です」と聖書に書いてあります。この「死」は霊的な死で、この地球と離れる時は永遠に神様から離れ、地獄で永遠に燃える火の中で苦しむことです。聖書には、人は神の立法を一つでも、一回でも、破ったことがあったら、その人は罪人であるとしてあります。人々は誰でも完璧に清い人生を生きることができないので、皆は罪人です。しかし慈愛深い唯一神には、その罰を受けなくてもいい計画がありました。「罪の支払いは死です」の箇所を続けて読むと、「しかし神の賜物は私たちの主イエス・キリストをとおして永遠のいのちです。」と、唯一神からのプレゼントについて書いてあります。

バレンタインデーには、バレンタインのプレゼントが当たり前ですね。人はプレゼントをあげたり、もらったりします。プレゼントには、不思議な点が一つあります。プレゼントをもらった者はプレゼントを受けとらないと、それを楽しむことができません。受けとらないと、それを与えた人は、折角用意したプレゼントは無駄なものとなったと思い、断られたことでとても残念がります。「プレゼントを断る人がいるわけないでしょう！」と思われるけれども、言うことはよくあると思います。

人がプレゼントを通して愛を示しても、受け取る人がその愛を断りたいという理由でプレゼントを受け取らないこともありえますね。神の息子イエスキリストは、大体2000年前に、この世に来られました。33年もこの世に住み、罪の全くない、清い人生を生きながら、多くの人たちの病気を癒したり、父なる神の愛について人に教えたりしました。けれども、多くの人はイエスキリストのことを受け入れませんでした。しかし、世の罪が神に許されるため、イエスキリストは自分をささげて十字架で死んでくださりました。人々皆の罪をすべて自分に背負って、人の代わりに罪の罰（死）を十字架で苦しみながら受けられました。けれども、イエスキリストは神であったので、墓に葬られた3日後、死からよみがえり、死に勝ちました。今でもイエスキリストは生きています！神の御座の右に着座して、人のために取りなしてくださっています。イエスは皆の罪の罰を支払ったので、代わりに人に許しと永遠の命を与えることができました。この次の箇所の通りです、「それは、罪が死によって支配したように、恵みが、私たちの主イエス・キリストにより、義の賜物によって支配し、永遠のいのちを得させるためなのです。」この許しと永遠の命は私たちに与えたいプレゼントです。これは一人一人受けとらないといけません。受けとるか、受けとらないのかはその人自身で決めなければなりません。神は無理矢理この贈り物を人に押しつけません。けれども、人々にすすめて、この贈り物を皆に与えたいと神は願っています。神は人を深く愛しているので、そのふさわしい罰を避ける契約を与えてくださりました。私たちはイエスキリストの賜物を受け取ると、イエスの義を得て、神の前で私たちは義と認められ、この世と離れたら、すばらしい天国に入らせてくださります。

では、このプレゼントはどうやって受けとれますか？罪の罰からの救いを得るには、どんな特別な技も知識も必要ではありません。ただ自分がしようとすると良い技に全く頼らずに、神であるイエスキリストの義にこそ頼り、聖書がこう教えてあるようにすればよろしいです。「もしあなたの口でイエスを主